安全データシート(SDS)

作成日 2013/10/02
改訂日 2014/07/23

１．製品及び会社情報

製品名：	サイトップ　ＣＴＸ－１０９ＡＥ
会社名：	旭硝子株式会社
会社住所：	東京都千代田区丸の内一丁目５番１号
担当部門：	化学品カンパニー
電話番号：	03-3218-5700
ＦＡＸ番号：	03-3218-7846
整理番号：	AGC-X-0692
推奨用途および使用上の制限：	・ 工業用製品

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

物理化学的危険性：

火薬類：	分類できない
可燃性／引火性ガス：	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール：	分類対象外
支燃性／酸化性ガス：	分類対象外
高圧ガス：	分類対象外
引火性液体：	区分外
可燃性固体：	分類対象外
自己反応性化学品：	分類できない
自然発火性液体：	区分外
自然発火性固体：	分類対象外
自己発熱性化学品：	分類できない
水反応可燃性化学品：	分類できない
酸化性液体：	分類できない
酸化性固体：	分類対象外
有機過酸化物：	分類できない
金属腐食性：	分類できない

健康に対する有害性：

急性毒性－経口：	分類できない
急性毒性－経皮：	分類できない
急性毒性－吸入（気体）：	分類対象外
急性毒性－吸入（蒸気）：	分類できない
急性毒性－吸入（粉塵／ミスト）：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性：	区分外
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	区分外
呼吸器感作性：	分類できない

皮膚感作性：　分類できない
生殖細胞変異原性：　分類できない
発がん性：　分類できない
生殖毒性：　分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）：　分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）：　分類できない
吸引性呼吸器有害性：　区分外
水生環境-急性有害性：　区分外
水生環境-慢性有害性：　区分４
オゾン層有害性：　分類できない

ＧＨＳラベル要素：

絵表示またはシンボル：

注意喚起語：
- なし

危険有害性情報：
- 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

安全対策：
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。
  この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
  使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
  取扱い後はよく手を洗うこと。
  容器を密閉しておくこと。
  屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
  必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急措置：
- 漏出物を回収すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  気分が悪い時は、医師の診断を受けること。

保管：
- 容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い涼しいところで保管すること。
  施錠して保管すること。

廃棄：
- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 内容物又は容器を廃棄する場合は、都道府県の規則に従うこと。

結果として分類されないその他の危険有害性：
- 人の健康に対する有害性：非常に高い温度で加熱された場合は、弗化水素および猛毒なパーフルオロイソブチレン等の有害物質を生ずる恐れがある。
  加熱した場合に発生する蒸気は、目、呼吸器を刺激することがある。
- 物理的及び化学的危険性：危険性の評価は必ずしも十分ではなく、取扱いは十分注意ください。
- 環境への影響：環境影響情報の項を参照

３．組成及び成分情報

単一/混合物：　混合物

成分：

No.	成分名	CAS No.	化学式	含有率(%)
1	フッ素系溶剤	132182-92-4	C7H3F13O	85-99
2	フッ素樹脂	101182-89-2	(C6F10O) n	1-15

No.	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号	安衛法通知物質	化管法
1	登録/非公開	登録/非公開	－	－
2	6-2092	登録済み	－	－

毒物及び劇物取締法：　・　該当せず

４．応急措置

吸入した場合：
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
・呼吸が弱かったり、止まっている場合には、衣類をゆるめ、人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合：
- 付着物を布にて素早く拭き取る。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。
・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しない。

目に入った場合：
- 多量の水で洗顔する。
・微候・症状が持続する場合は医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：
- 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける
・医療関係者の指示がない場合は吐かせてはならない。
・コップ2杯の水を与える。

５．火災時の措置

消火剤：
- 可燃性でない。水、乾燥砂を使用。

特有の消火方法：
- 移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。
- 燃焼の際に有害なガス（弗化水素、ハロカルボニル、一酸化炭化水素及び猛毒なパーフルオロイソブチレン）が発生する恐れがあるので、消火作業従事者は自給式呼吸保護具等を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
- 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
・作業の際には、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
・換気が十分に行われていない場所では呼吸用保護具を着用する。

環境に対する注意事項：
- 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をする。
・大量の場合には、下水設備に入るのを防止するために下水溝にカバーをし土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法／機材：
- 大量の場合には、下水設備に入るのを防止するために下水溝にカバーをし土手をつくる。
・十分な量の適切な吸収剤で漏洩物を囲みながら、漏洩箇所が乾燥するまで吸収させる。
・土、乾燥砂等不活性の物質に吸着させて密閉容器に回収する。
・周囲を換気する。

二次災害の防止策：
- 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。
- 工業用又は専門家用に限定使用。
・使用しないときは、容器を密閉しておく。
・禁煙。本品を使用中に喫煙するとタバコの熱により蒸気が熱分解し有害なことがある。
・作業服は他の衣類や食品、タバコと別に保管する。
- 沸点以上で取扱うときは局所排気設備を設置して風速２５ｃｍ/秒以上を維持する。
・換気設備のない場所で沸点以上になった場合は空気呼吸器を着用し、熱源を停止し退避する。
・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

保管：

技術的対策：

適切な保管条件：
- 日光の直射を避ける。
- 通風の良いところに保管する。
- 強い塩基から離して保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策：
- 作業場所近くに、緊急時のシャワー、手洗い及び洗眼の装置を取り付ける。
- 蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を取り付ける

呼吸器の保護具：
- 有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具：
- 保護手袋を着用する。
  次記の材料で作られた手袋を使用すること。二トリルゴム
  ポリエチレン／エチレンビニルアルコール

目の保護具：
- 保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具：
- 必要に応じて着用する。

その他：
- 化学名含フッ素溶剤
  管理濃度未設定
  許容濃度日本産業衛生学会2008年度版ＴＷＡ 未設定
  ACGIH 2007年度版ＴＷＡ 未設定
  ＳＴＥＬ 未設定
  OSHA 1993年度版ＰＥＬ 未設定

９．物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体
形状：	情報なし
色：	無色透明
臭い：	微臭
ｐＨ：	データなし
沸点、初留点、沸騰範囲：	97 ℃(ふっ素溶剤)
引火点：	情報なし
自然発火温度（発火点）：	408 ℃
蒸気圧：	0.0056MPa　(20℃)
比重（相対密度）：	フッ素系溶剤　1.6
水に対する溶解性：	情報なし
溶媒に対する溶解性：	情報なし
その他のデータ：	消防法上の引火点なし。

１０．安定性及び反応性

安定性（危険有害反応可能性）：
- 常温常圧において安定。
- 危険な重合は起こらない。

危険有害な分解生成物：
- 燃焼生成物はフッ化水素、パーフルオロイソブチレン等を含有する恐れがある。

その他：
- （フッ化水素の許容濃度）ＡＣＧＩＨ TLV　0.5ppm,　TWA　２ppm STEL（Ceiling）
- （パーフルオロイソブチレンの許容濃度）ＡＣＧＩＨ STEL（Ceiling）0.01ppm

１１．有害性情報

急性毒性：	フッ素系溶剤	LD50(経口)	ラット	＞2000 mg/kg
		LD50(経皮)	ラット	＞2000 mg/kg
		LC50(蒸気)	ラット	＞430 mg/L(4H)

皮膚感作性：　データなし

・生殖細胞変異原性　：　Ames試験：陰性（フッ素系溶剤、フッ素樹脂）
染色体異常試験：陰性（フッ素系溶剤）
・発がん性：日本産業衛生学会，ＡＣＧＩＨ，ＮＴＰ，ＩＡＲＣのいずれにも記載なし
・２８日反復経口投与毒性試験　　ＮＯＥＬ：２５ｍｇ／ｋｇ／day（フッ素系溶剤）

１２．環境影響情報

・ 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

残留性／分解性：	・ データなし	
生体蓄積性：	・ データなし	
水生環境-慢性有害性：	・ フッ素系溶剤	区分４
その他：	・ 生体毒性未評価	

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：	・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。
汚染容器および包装：	・ 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

１４．輸送上の注意

陸上輸送：	・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送：	・ 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送：	・ 航空法の定めるところに従うこと。
輸送の特定の安全対策及び条件：	・ 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
その他：	・ 運搬に際しては、容器を４０℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。 ・ 国連分類・国連番号(UN)・容器等級　：該当なし

１５．適用法令

その他の法令：

- 労働安全衛生法　第57条の2（文書(SDS)の交付等）：　該当しない。
- 毒物及び劇物取締法：　該当しない
- 化学物質管理促進法(PRTR法)：　該当しない
- 外国為替及び外国貿易管理法、輸出貿易管理令、別表第1の16項に挙げる貨物に該当するので、輸出の際には許可申請要件（客観要件、インフォーム要件）に該当する場合は輸出許可が必要である。
- 消防法：非危険物

１６．その他の情報

会社名：	旭硝子株式会社
担当部門：	化学品カンパニー
電話番号：	0436-23-3871
ＦＡＸ番号：	0436-22-5710
制約を受ける事項：	・本製品は工業用品であり、メディカル用途を想定して開発・製造を行ったものではありません。
その他：	・改訂内容：GHS区分、有害性情報（2014.7）

SDSは事業者を対象とした文書です。

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。 また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。 重要な決定等に利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。 記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施した上、お取扱い願います。 当製品の譲渡時には本SDSを添付してください。